

これからの学校教育を担う 教員の育成

附属学校園で働く、成長する。



兵庫教育大学附属学校園が目指す教員像

本学附属学校園では、ミッションとして、「大学と一体となった先導的な教育実践研究の推進」「新しい時代の教員養成に即した教育実習の実施」「地域のモデル校としての役割の遂行」を挙げ、「学校像」「子ども像」「教員像」について、ビジョンを掲げています。このうち、「教員像」においては、全国の自治体から附属学校園に派遣される教員が、附属学校教員としての自覚をもち、互いに敬意をもって高め合い、学校における働き方改革を踏まえながら先進的で優れた教育実践に挑み、地元自治体の中心的な教員として活躍できる資質・能力の向上に努めることとしています。



兵庫教育大学附属学校園の取り組み

01 兵庫教育大学附属小学校・中学校 文部科学省「研究開発学校」指定(令和8年4月1日~令和12年3月31日)

次期学習指導要領を先取りし情報活用能力の抜本的な向上を図るため、小学校の「総合的な学習の時間」に「情報の領域」を付加し、中学校に「情報・技術科」を設置するとともに、全ての教科においてデジタル学習基盤を活用した質の高い探究的な学びを実現する小中一貫の教育課程の研究開発を行います。

02 教員の資質・能力の向上

教員養成大学附属学校園として、校内研修を指導できる能力、研究力・指導力の育成・向上をめざします。また、先進的で優れた教育実践に挑み、地元自治体の中心的な教員として活躍できる資質・能力の向上に努めるとともに、将来の管理職や指導主事等の養成にも努めています。

03 大学・附属間の連携による共同研究・事業の実施

大学教員に研究発表大会の各分科会で助言を依頼したり、各教科の研究會を定期的に開催したりするなどして大学との連携を深めているほか、幼小中が相互に交流する授業・行事の実施に加え、幼小中合同不審者対応訓練を実施して附属学校間の連携を深めるなど、大学教員や附属学校間のネットワークづくりを進めています。

04 派遣元教育委員会等での教育研究成果発表

附属学校園での教育研究の成果発信として、派遣元教育委員会等で成果発表会を計画し、附属学校園で経験されている教育研究の情報を地元提供しています。

05 多数の実習生受け入れなどの経験

教員養成大学のため例年、附属幼稚園では前期約20名、小学校では前期約80名、後期約80名、中学校では前期約20名の教育実習生を受け入れています。多くの教育実習生を指導しながら、新人教員育成の技術も身に付けていきます。

06 教員の働き方改革の促進

幼小中が連携した教育相談体制「教育相談室」の設置や校務支援員、学習補助員等の学校支援人材の配置、子ども発達支援医、スクールロイヤーの活用を進めることで、生徒指導等に関する教員の負担軽減を進めています。また、中学校では部活動時間の短縮、部活動指導員の配置により、顧問業務の軽減を図りました。さらに校務や諸会議等の見直しを行うことで、大幅な時間外勤務の削減を達成しています。なお、校長の許可を受けた時間外業務については、時間外勤務手当(教職調整額を超えた額)が支給されます。

07 STEAM教育等先導的な教育実践の推進

デスクトップPCや3Dプリンタを設置した教室「STEAM Lab.」でのプログラミング教育や、GIGAスクール端末を活用した授業、大学教員との共同研究による授業研究と実践など、STEAM教育を推進しています。さらに附属小学校では教科担任制、附属中学校では総合的な学習の時間での探究学習などの教科研究と授業実践を推進しています。

本学附属学校園での学び

▶ 充実した研究環境

個人で研修会や研究会等に参加するための旅費や物品・書籍の購入などに使用できる研究費を措置します。また、1年単位の変形労働時間制により夏休み期間の出勤日数を削減し、研究を深める時間を確保しています。さらに、大学教員との共同研究、実践授業等の成果を出版する取組も行っています。

▶ 大学院進学(修士課程、専門職学位課程)

附属学校園在職中に各校園長の推薦により、派遣元教育委員会、本学学長の了承のもと、勤務しながら本学大学院に入学する制度があります。さらに、附属学校園に原則3年以上勤務して派遣元に戻られた後、10年以内であれば実践的指導力の更なる向上及び高度な専門性の修得を図る目的で本学大学院に入学できる制度を設けています。
※検定料、入学料及び授業料の本人負担なし。博士課程は対象外。

▶ 小中免許併有のための科目等履修制度

附属学校園在職中に各校園長の推薦により、勤務をしながら大学で開講する授業科目を履修する科目等履修生に入学できます。(検定料、入学料及び授業料は本学負担)小学校の教員が中学校教諭免許状を、中学校教諭が小学校教諭免許状を取得するための授業科目を履修し、単位を修得することにより免許状の取得が可能です。また、他大学の通信課程等で科目等履修を行う場合の費用についても一部支援されます。

▶ 全国様々な地域の教員とのネットワーク

本学附属学校園の教員は毎年、全国様々な地域から人事交流で来ていただいております。令和8年度は9の道府県から来ていただいております。各地域の特色ある教育やそれぞれの経験について情報交換を行い、様々な地域の教員とのネットワークを作ることができます。派遣元に戻られた後も、このネットワークを活かすことができます。

▶ 特別支援教諭免許状の取得のための講座の受講

附属学校園在職中に各校園長の推薦により、大学で夏休みに開設する特別支援学校教諭2種免許状取得のための講座(免許法認定公開講座)を無料で優先的に受講することができます。3年間受講すれば免許状の取得が可能です。



宮崎県延岡市からの交流
附属小学校教諭
甲斐 未来

附属小学校で、私の世界はもっと広がりました。

全国から集う志高い仲間、大学の研究者、そして世界を舞台に活躍する方々や教育実習生。多様なバックグラウンドを持つ人々との刺激的な出会いや繋がりは、私の「教育観」「子ども観」を心地よく揺さぶり、多角的な視点を与えてくれます。

変化の激しい時代に、本質を問直すこと。大切なものを見失わず、互いのよさを柔軟に取り入れ、子どもと一緒に意見を重ねながら「新しい正解」を創り出していく。そこに、楽しさがあります。

また、変形労働時間制による長期休暇の確保や、年2科目(各2日)×3年の講義受講で特別支援2種免許が取得できるなど、自己研鑽とリフレッシュを支える制度も魅力です。

公私ともに日々充実していて、嬉しいです!ぜひ仲間になってください。



兵庫県佐用町からの交流
附属中学校教諭
山崎 麻友

附属中学校では、全国から集まる先生方とともに学び合うことで、教育に関する多様な考え方や指導方法に触れ、新たな視点を得ながら成長することができます。令和8年度からは研究開発学校として、技術・家庭科の技術分野における情報領域の充実や、情報・技術との関連を強化した教育課程の在り方について研究開発を進めています。STEAM教育を取り入れた学びを基に、先生方との研修や協議を重ねる中で、視野の広がりや教科における学びの深まりを実感しています。

また、国際理解・国際教育プログラムの一環として、海外の小中学校と連携した取組を行っているほか、大学の先生方から高度な専門的知識などの支援を得ながら、授業研究や実践に取り組むことができます。そのため、自身の研究や専門性をより深めたい先生にとって、大変魅力的な場所だと感じています。さらに、授業実践交流会や研究大会では、多くの先生方から多様な視点で助言をいただくことができ、互いに高め合いながら授業力を向上させることができる点も、大きな魅力の一つです。

ACCESS



兵庫教育大学附属幼稚園

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2013-4
TEL.0795-40-2227

兵庫教育大学附属小学校

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2013-4
TEL.0795-40-2216

兵庫教育大学附属中学校

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2007-109
TEL.0795-40-2222

(令和8年5月現在)